

IPWSO ニュース!

2012年へようこそ!

新たに加盟した、バーレーン、インドネシア、グルジア、香港、ベラルーシ、マルタ、ジャマイカを心より歓迎いたします。また、チュニジアを近々迎える日を心待ちにしています。これで、世界の加盟国は 97 カ国になります。加盟国の一覧は www.ipwso.org/member-countries でご覧になることができます。

「初めて」の出来事：昨年は今までにも増して「初めて」が沢山ありました。日本で初めての PWS 会議、マケドニアで初めての PWS 会議が開催され、キューバで初めてとなる会議が 2012 年 4 月に開催されることが決まりました。これら全ての会議に、IPWSO の役員が出席または講演しました。

専門的な支援提供者及びケアギバー委員会(PPCB) www.ipwso.org/professional-providers は活発に活動していて、昨年は米国で会議を開催、2011 年 5 月の IPWSO 役員会にて、いくつかの新たな提案を行いました。その一つは、今年後半 (2012 年 5 月 7-11 日) に、バイエルンで、3 回目の国際会議を行うという提案でした。また、各加盟国が、自国のケアギバー代表者を一人選出するという提案がされ、IPWSO 役員会が賛成しました。これにより、施設居住者に対する最良のケアを検討するための、より広く強い基盤ができることでしょう。各国は、今年の会議に間に合うよう、ケアギバー代表者の任命について検討されることをお願い致します。

また、[Best Practice Guidelines for PWS Residential Care](#) の冊子は今現在でも入手可能です。わたしたちは、既にかかなりの部数を販売いたしました。冊子については [Hubert Soyer](#) に直接お問い合わせください。

欧州小児内分泌学会(ESPE)会議：ドイツのライプツィヒにて、欧州小児内分泌学会 (ESPE) 会議がまた開催されることに期待が高まります。IPWSO も情報ブースを設けますが、わたしたちの活動には、信じられないほど大きな関心と注目が寄せられています。資料集は飛ぶようになくなります。この会議を通して、わたしたちは、ますます多くの国が IPWSO に参加することを望んでいることを知ることができるのです。現在のところ、加盟国は 97 カ国ですが、この年が終わらないうちに、100 カ国を超えると確信しています。

情報ブースにはジョルジオ・フォーナシエールとジャーナリー・ヘイネマンが待機します。多くの言語に通じているジョルジオと、医学知識のあるジャーナリーは、今やどんなことにも対応できるベテランのメンバーと言えます。

ろうそくをともしよう：2011年は、わたしたちにとって忙しい一年でした。イタリアのオフィスにいる、極めて有能なジョルジオ・フォーナシエールが次々と仕事を作り出しているから、という理由だけではありません。他の公益信託と同様に、わたしたちの行う活動に対して助成を受けることが、かつてない程に難しくなっていることも、その理由の一つです。

しかし、このような状況の中でも、わたしたちの「IPWSO にろうそくをともしよう」キャンペーンは、おかげさまで、すばらしい反響を得られています。精力的に活動してくださっている方々のおかげです。このキャンペーンについては、www.ipwso.org/light-a-candle-for-ipwso をご覧ください。

国際的組織における資金調達には、極めて難しいということが分かりました。なぜなら、わたしたちはグローバルな組織ですから、各国はそれぞれが同じくらい大事であり、広い世界の中の一つの国にかかりきりになるわけにはいかないからです。この橋を渡るために、寛大にも寄付をして助けてくださった方々には、感謝してもしきれません。いただいた寄付金は、世界中の家族や協会、医療、その他の専門家に向けて作成した情報の印刷、配布に使われます。また、他の国の協会が自立し、自国の協会員を支援できるようになるよう、IPWSO が手助けするために使われます。

年次報告書：年次報告書は2月中に印刷される予定で、デジタルデータは、わたしたちから直接、またはウェブサイトから入手することができます。

その間にも、PWS に関する最新ニュースを、絶えずお届けしていきたいと思えます。

2012年が皆さまにとって良い年でありますように。